

第19回 宗教倫理学会学術大会

*The Nineteenth Conference of
the Japan Association of Religion and Ethics*

大会テーマ

宗教倫理とは何か

What is Religious Ethics

2018年10月6日(土) 9時 開会

京都外国語大学 1号館 R171

□ 研究発表 09:00~12:15

□ 公開講演 (入場無料・申込み不要) 14:00~16:30

佐々木 閑 (花園大学 教授)

「仏教の修行者はなにを目指すのか」

司 会 : 杉岡孝紀 (龍谷大学)

レスポンス : 小田淑子 (元関西大学)



〒615-8558京都市右京区西院笠目町 6

- 阪急京都線利用の場合は、「西院」駅から西へ徒歩約15分。
または市バス「西大路四条」(西院)から3・8・28・29・67・69・71系統に乗車、「京都外大前」で下車。(所要乗車時間約5分)
「梅田」駅から「西院」駅までは約40分。
- JR線利用の場合は、「京都」駅烏丸口から市バス28系統、八条口から市バス71系統に乗車、「京都外大前」で下車。(ともに所要乗車時間約30分)
- 地下鉄烏丸線利用の場合は、「四条」駅で下車、市バス「四条烏丸」から3・8・29系統に乗車、「京都外大前」で下車。(所要乗車時間約15分)
- 地下鉄東西線利用の場合は、「太秦天神川」駅から南へ徒歩約13分。

宗教倫理学会

— JARE —

Japan Association of Religion and Ethics

<http://www.jare.jp>

宗教倫理学会第19回学術大会テーマ

宗教倫理とは何か

What is Religious Ethics

本学会では、これまで生命倫理や環境倫理、さらには宗教共同体や宗教者の公共圏への参与など、宗教と倫理の関係をめぐる様々な課題を幅広く取り扱ってきた。宗教的信念に基づく価値規範と、急速に変化する現代社会に立ち現れる価値観とは、決して対立するだけでなく、相互に補完的かつ生産的な関係を取り結ぶこともできる。2018年度は2017年度に引き続き、宗教と倫理の間の緊張関係と相互関係をあらためて問い直し、本学会の固有の役割を再認識するために、「宗教倫理」という学問的枠組みに光を当て、今後の展開のための方法論的基礎を築いていきたい。

宗教がそれぞれ独自の価値規範を持ち、倫理という語が多義的である以上、「宗教倫理」の考察に対しても様々なアプローチが可能であろう。「宗教倫理とは何か」を共通課題として、理論および実践の両面から議論が深まることを期待したい。

公開講演 14:00～16:30

仏教の修行者はなにを目指すのか

講師：佐々木 閑（花園大学 教授）

講師紹介

花園大学教授。1956年福井県生まれ。京都大学工学部工業化学科および文学部哲学科卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学後、米国カリフォルニア大学バークレー校留学を経て現職。文学博士。専門はインド仏教学、仏教哲学、仏教僧団史。日本印度学仏教学会賞、鈴木学術財団特別賞受賞。著書に『出家とはなにか』『インド仏教変移論』『科学するブッダ 犀の角たち』

『日々是修行』『生物学者と仏教学者 七つの対論』（斎藤成也氏との共著）『「律」に学ぶ生き方の智慧』『ブッダ 真理のことば』『般若心経』『ブッダ 最期のことば』『仏教は宇宙をどう見たか』『ゴータマは、いかにしてブッダとなったのか』『出家的人生のすすめ』『真理の探究—仏教と宇宙物理学の対話—』（大栗博司氏との共著）『別冊NHK 100分de名著 集中講義 大乘仏教』『ブッダに学ぶやり抜く力』『ごまかさない仏教：仏・法・僧から問い直す』（宮崎哲弥氏との共著）。翻訳に鈴木大拙著『大乘仏教概論』『ブッダ 100の言葉』など。

京都外国語大学・キャンパスマップ

